

11月14日(日) オンラインシンポジウム決定!

# JDSIニュース 画期的

100年可視化!

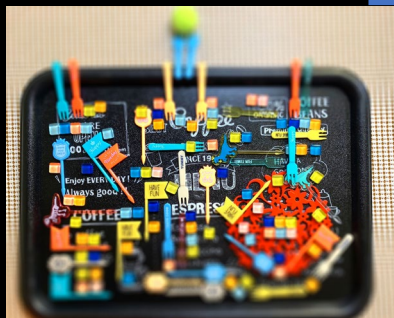
100年先の未来を予見!

▲サイズや構成細胞に多様性がみられる膵島を、硬質球体ガラス標識法により可視化(かな)。インスリン分泌細胞は濃紺に、グルカゴン陽性細胞は赤く、その他ソマトスタチンやPP陽性細胞、脱分化した非分泌系細胞や複数のホルモン陽性細胞も混在している(みたい)。



▲非糖尿病患者の膵島には青く輝くインスリン分泌細胞が高密度に存在する(かも)。

▲糖尿病患者の膵島では、赤くラベルされたグルカゴン陽性細胞が目立つ(ような)。



▲多様に分岐するインスリンシグナルもリアルタイム可視化された(らしいな)。

## インスリン発見100周年

2021年は、1921年にFrederik Banting先生とCharles Best先生がインスリンを発見されて100年の記念すべき年です。

日本糖尿病学会では、インスリン発見100周年を記念して、世界糖尿病デー(Banting先生の誕生日)である2021年11月14日(日)に

### インスリン発見100周年記念シンポジウム

「今、あらためて糖尿病を問い直す」をハイブリッド開催します。

#### 特長その1 配信がすごい!

過去の年次学術集会や地方会で発表されたインスリン100周年に関連する魅力的なコンテンツを毎月配信しています。

#### 特長その2 シンポがすごい!

葛谷健先生からインスリンや糖尿病の歴史に関して、続いて日本糖尿病学会理事長である植木浩二郎先生からインスリン発見100周年記念シンポジウムに寄せてご講演をいただきます。

#### 特長その3 分科会がすごい!

①インスリンとは?  
②インスリン作用とは?  
③糖尿病とは?  
④糖尿病の合併症とは?  
今後100年を見据えて、4つの分科会で、各5名のディスカッションが登場!

#### 特長その4 アンケートがすごい!

4つのテーマにそれぞれのQuestionsを設定。簡単な内容ですが、1000回答以上のレスポンスを頂きます!感謝いたします!回答結果は、ディスカッションの題材として、11月14日当日に公表されます。お楽しみに!

#### 特長その5 告知がすごい!

毎月のインスリン関連講演の配信に先立ち、動画や静止画でインスリン発見100周年記念シンポジウム開催を、あの手この手で告知。過去にない切り口を模索中。もうあと2ヶ月の1回しかない!過去の告知も、今一度、ご覧くださいませ。

#### インスリン発見100周年記念シンポジウム 「今、あらためて糖尿病を問い直す」

目的  
インスリンの発見を端緒とする治療の進歩・研究の進展による「糖尿病」の疾患概念の変化、「糖尿病治療の目標」の変化を議論し「糖尿病」とは何かをあらためて考える。

Agenda  
1. インスリン治療の開始により糖尿病は死に至る病から血管合併症を引き起こす疾患へと概念が変化した。その後も、治療の発展に伴って、大血管症合併症が合併症として認知され、その患者の高齢化に伴って様々な併発症が提唱されている。その歴史を振り返る。  
2. 糖尿病の合併症とは何か。なぜ合併症は起きるのか。  
3. 現在糖尿病は血管合併症(主に網膜症)を発症する代謝状態(血糖の状態)の判定によって診断しているが、それは正しいか。  
4. 糖尿病は内分泌・代謝疾患に分類されるがホルモンの補充により解決しない内分泌疾患という特性を再考する。インスリンのドッキングレセプターや細胞の再生などにより適切なインスリンの体内経路と量を確保すれば糖尿病は治癒するのか。  
5. インスリンの作用不足によって生じると言われている糖尿病において、インスリン抵抗性とは何か。インスリン抵抗性には何が起きているのか。  
6. GLP-1受容体作動薬の心血管疾患抑制効果や腎保護作用、SGLT2阻害薬による心不全抑制効果や腎保護作用等が明らかになり、糖尿病患者に起きているインスリン作用不足に基づく(これが全てであるかどうか)も問題であるが代謝失調の是正以外に注目した治療法が、糖尿病の治療のメインストリームになりつつある。糖尿病治療のターゲットは何か。目標は何か。  
7. 糖尿病克服のための研究とは何か。

本紙には、一部(主に左)に事実と異なる内容があります。ことをご理解・ご容赦ください。編集部

某国東部編

- ・ 研究室での会話はわかるようになったけど、売店でチーズバーガー頼んでも、普通のしかきたことがない
- ・ ラージサイズのドリンクを頼んだら、バケツのようなカップがきて、しばらくゴミ箱として使った(エコ)
- ・ アパートの巨大なゴミ箱に、ソファが捨てられているのを見て、ソッチのほうがきれいなので頂戴した(時効)
- ・ 週末に時間があって、どこに行こうか悩む
- ・ 冬は極端に寒くて、吐く息が凍る
- ・ 1ドル50セントの電車賃が惜しい
- ・ 夏が短い(遊ばなくっちゃ)
- ・ サマータイムで日は長い



・ 車が埋もれるほどの雪に驚く →

- ・ 隣のラボのボスとサッカーする
- ・ 川沿いを走るランナーが多い
- ・ 1年もしたらヒトに教えることが増える
- ・ チップを暗算できるようになる(だいたいね)
- ・ ラボにネイティブのアメリカ人はほとんどいない



・ ハロウィンで、かぼちゃを削る →

- ・ 自転車のサドルが盗まれる(ご注意あれ)
- ・ 冷房が凍えるほど効いている
- ・ ロングドライブ5~6時間は当たり前
- ・ ガソリンのガロンがよくわからない
- ・ マイルは少しわかる
- ・ ノンネイティブの英語が聞き取れない(Say that again?)
- ・ 夏休みが1週間も取れる、あちこち行ける(やった!)
- ・ けど、ヨーロッパ人は1ヶ月取ってる(ありゃ)
- ・ 少しだけ日本語が下手になる
- ・ 5歳の息子に発音を訂正される(yellowとかpurpleがダメだって)
- ・ 懐かしくって、いい思い出しか浮かばない

オススメ

JDS限定情報

あるあるあるある 海外留学ニュース

ラボからの眺め



インスリン発見100周年記念シンポジウムとは、直接関係のない内容で、かつ個人の感想ですが、こちら側の紙面には事実と異なる内容がございません。

編集部



重厚感あるたたずまい



4時間で  
行ける



盛り上がる!



映画の聖地



学会後に周遊



クワックワッ!